



※組み立て前に必ず、『安全上のご注意』(別紙)をお読み下さい。

W678M型

(1012)

組立説明書

間口約2.7m 奥行4.8m 高さ約2.35m
A・Bケースで一棟分です。

※組立前にケース内容を確認して下さい。

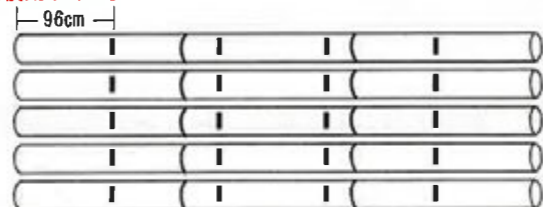
1 横通しパイプを準備する。(5組)

⑭と⑭を継ぎ、⑮に差し込む。(5組)

※ 継ぎ目をしっかり差し込み、中心を抜けない程度につぶす。
その時、下に固いものを敷く。(5組・10ヶ所)

※ 組立手順 7 パイプ取付けの為、96cm間隔にマジック等で印を付ける。

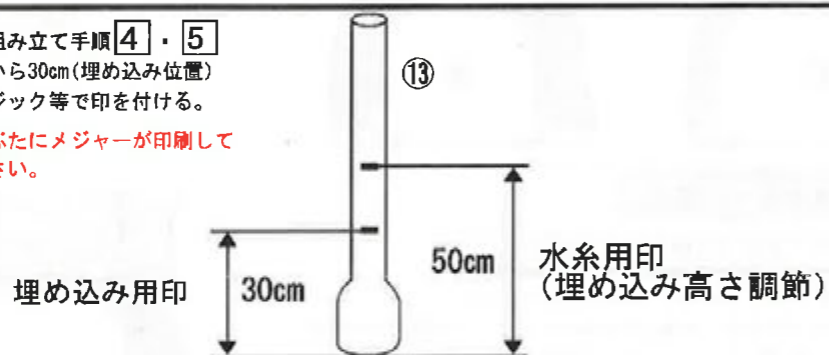
※ ダンボールケースの上ぶたにメジャーが印刷してありますので御使用下さい。



2 脚用パイプに印を付ける (12本)

図の様に⑬の脚パイプに、組み立て手順 4・5 作業の為、つぶしてある方から30cm(埋め込み位置) 50cm(水系位置)に、各々マジック等で印を付ける。

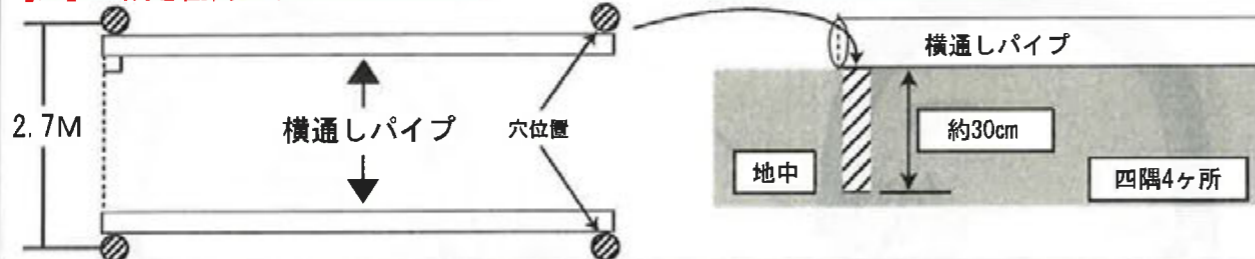
※ ダンボールケースの上ぶたにメジャーが印刷してありますので御使用下さい。



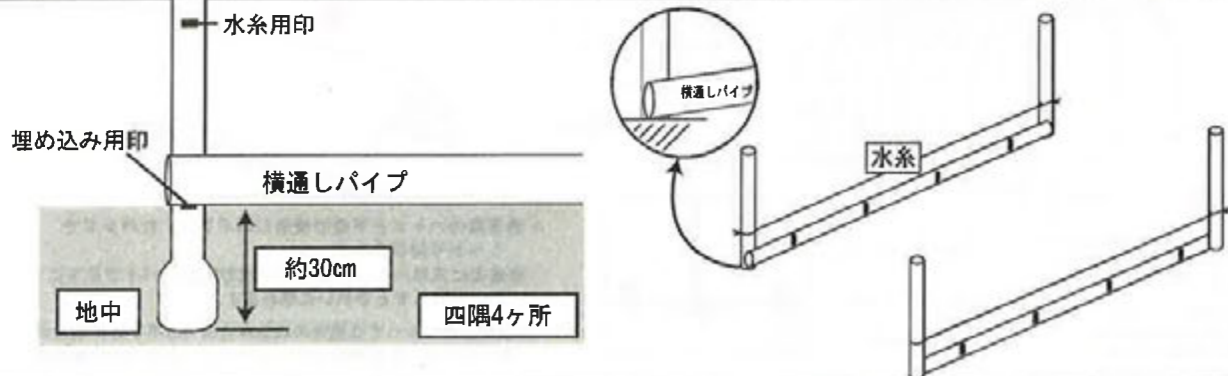
3 1で準備した横通しパイプを設置場所に置き、四隅に穴を掘る。

【注】四隅を直角にする ※上から見た図

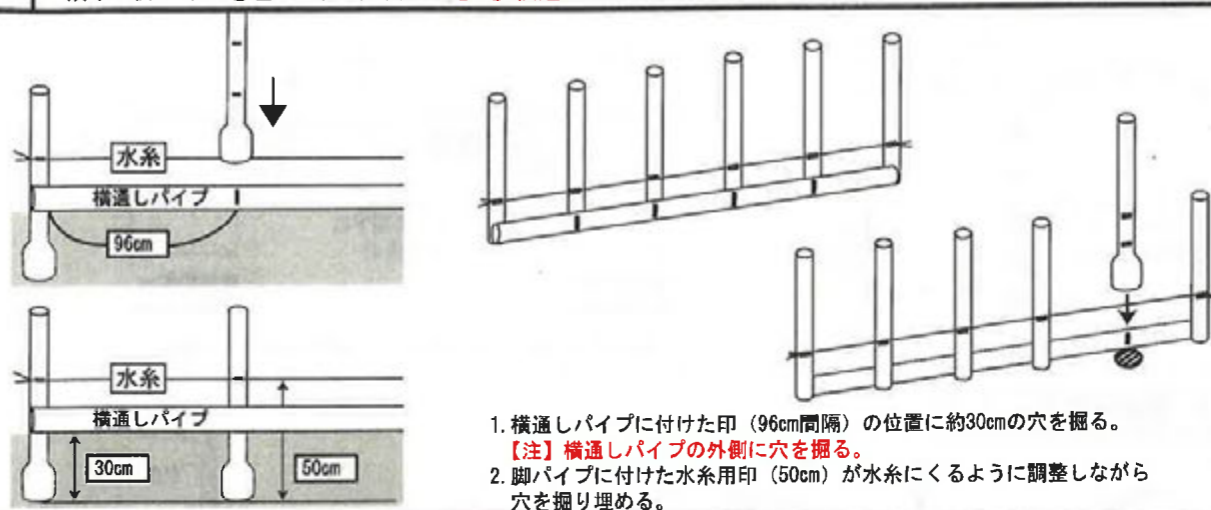
【注】バール等で穴を掘る



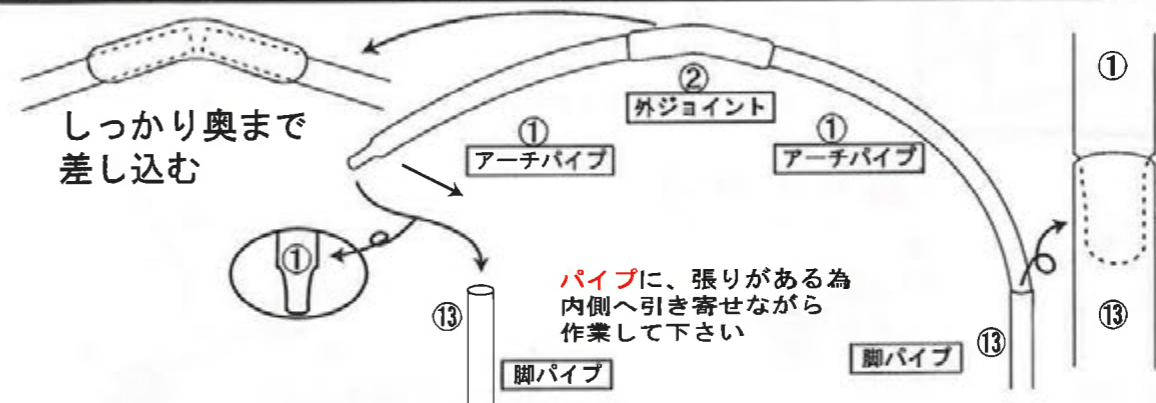
4 脚パイプを四隅に30cm埋め込み、水系を50cmの印に張る。



5 残りの脚パイプを埋める。(8本) 【注】横通しパイプの外側に建てる



6 アーチ用パイプを組み、脚パイプに差し込む。(6組)



7 1で準備した横通しパイプを取付ける。(内側に取付ける)



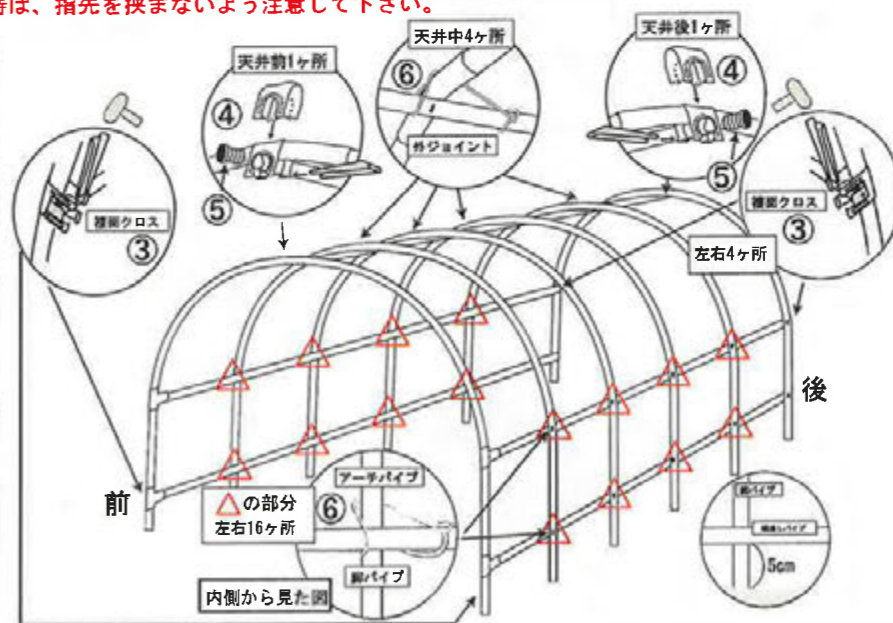
工具を用いてしっかり止める。

【注】横通しパイプは、各パイプの内側へ印を合わせて取付ける。
部品取付け時は、指先を挟まないよう注意して下さい。

天井1組 外ジョイントの中心に ①で付けた印を合わせて取付ける。

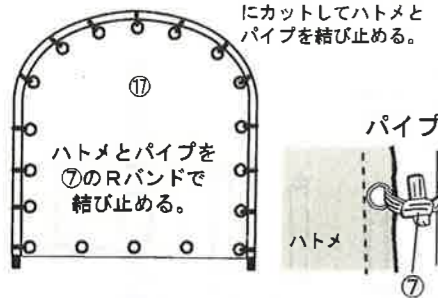
左右2組 アーチ・脚パイプの継ぎ目に ①で付けた印を合わせて取付ける。

左右2組 地面から5cm上げた位置に ①で付けた印を合わせて取付ける。

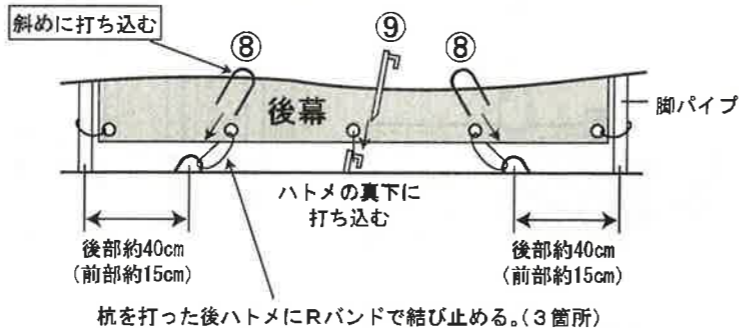


8 後幕を張る。

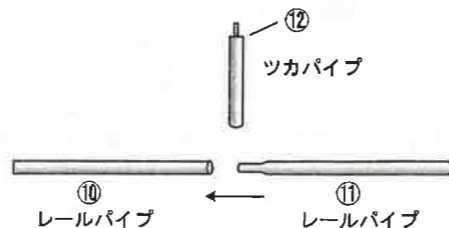
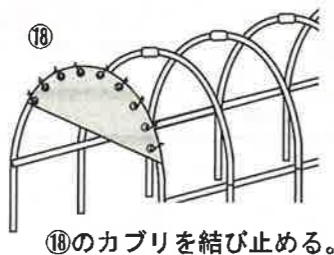
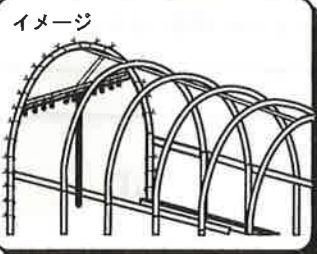
※⑦のRバンドを約30cmにカットしてハトメとパイプを結び止める。



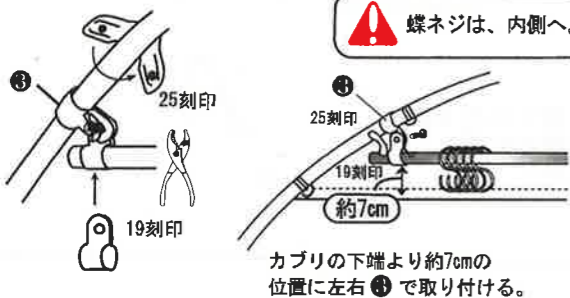
9 U字クイとプラ杭を打ち込みRバンドで止める。



10 前幕を張る。

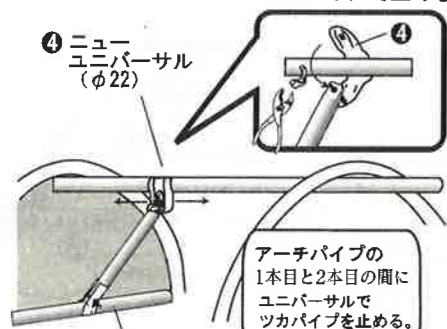


⚠ 蝶ネジは、内側へ。

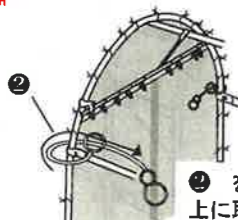


ユニバーサルで止める。

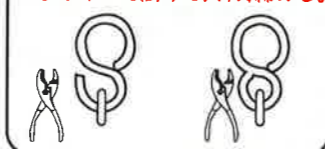
④ ニューユニバーサル (φ22)



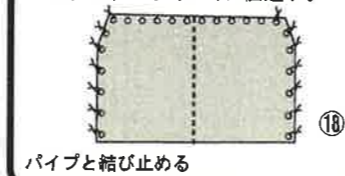
ボルトが車庫の内側になるように!



プライヤーで広げて入れ、締める。

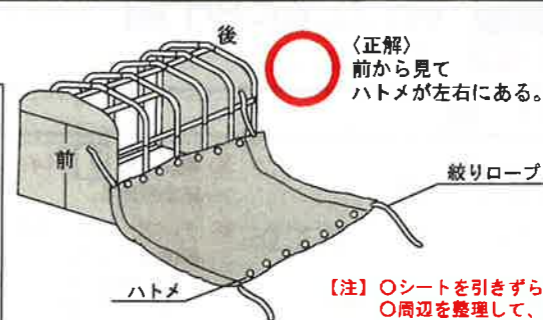
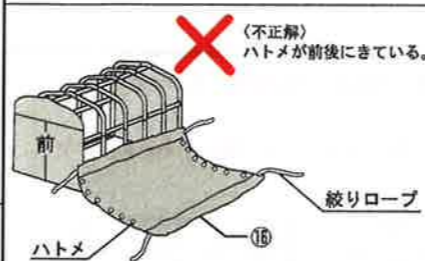


ファスナーより左右5個通す。



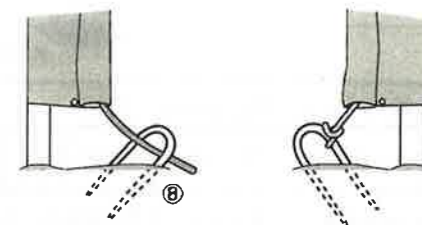
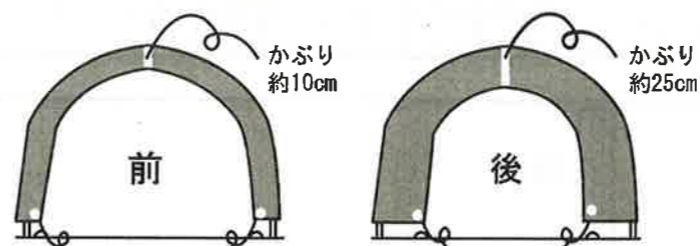
11 天幕を広げ、向きを確認して骨組みにかぶせる。

ハトメの位置が下図(○の正解)の様になっている事を必ず確認して、骨組みにかぶせて下さい。ハトメの位置を間違えて骨組みにかぶせると天幕は張れません。



【注】○シートを引きずらない。
○周辺を整理して、キズつかないようにする。
○風の強いときは作業しない。

12 天幕を被せ杭を打ち、ロープを仮止めする。

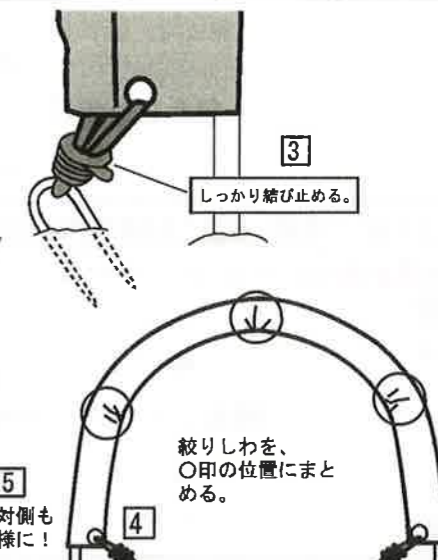
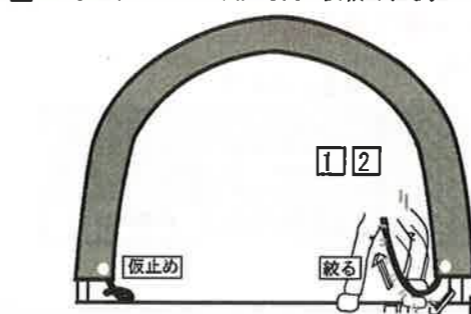


【注】絞リロープを仮止めする。

13 天幕を絞り、張る。

前後のかぶり・左右すき間を確認しながら

- 1 片方のU字杭からロープを外し、ロープを引き上げる。
- 2 ロープを引き上げたまま、足を上下に動かしてロープを踏み込み絞る。
- 3 ピーンとロープを張ったら、しっかりU字杭に結び止める。
- 4 片方の仮止めをしっかりとめ直す。
- 5 反対側(前をしたら後)も同じ要領でやる。



●天幕のバツキ防止の為、図のようにパイプとパイプの間をRバンドでしっかり結び止めて天幕をおさえてください。

注意

※車庫に前幕・後幕・天幕を張ったとき下部に隙間があきますが下記理由によりあらかじめ隙間があくよう設計されています。
●車庫内の換気をよくする。
●車の排気ガス換気のため。
●車庫内の温度上昇防止。

パイプとパイプの中間に取り付ける

横通しパイプに結びとめる。(反対側も同様に!)

●天幕のハトメと下端の横通しパイプを、Rバンドでしっかり結び止める。
●最後に天幕ハトメと結んだ下端の横通しパイプを下に叩いて降ろすときれいに張れます。

※設置場所によっては規定の埋込み寸法では不十分の場合がありますので別途補強を行って下さい(安全上の注意参照)

W678M型

*裏面『安全上の注意』を先にお読み下さい

部材表

間口：約2.7m
高さ：約2.35m
奥行：約4.8m

保存

1012

No.	品名	数量	規格	形状	No.	品名	数量	規格	形状
A ケース					B ケース				
①	アーチ用パイプ	12	25×160cm (S)		⑬	脚用パイプ	12	25×185cm (P)	
②	外ジョイント	6	28×18cm		⑭	横通し用パイプ	10	22×166cm (S)	
③	楼面クロス	8	25×22		⑮	横通し用パイプ	5	22×160cm	
④・⑤ 同じ袋に入っています					天幕ケース				
④	ピーククロス	2	28×22		⑯	天幕	1	約幅 5.9m 長さ 5.2m	
⑤	キャップ	2	22φ用		⑰	後幕	1		
⑥	フックバンド	20	28×22 兼用 25×22		⑱・①・②・③・④・⑤ 同じ袋に入っています				
⑦	Rバンド	1	70m		⑱	前幕	1		
⑧	U字クイ	4	10×24cm		①	Sカン	10		
⑨	プラ杭	1	30cm		②	Sカン付き ゴムロープ	2		
⑩	レールパイプ	1	19×79cm		③	ニュー ユニバーサル	2	25×19	
⑪	レールパイプ	1	19×85cm (S)		④	ニュー ユニバーサル	1	22	
⑫	ツカパイプ	1	19×38cm (PH)		⑤	Tバンド	1	19×19	

必要工具を準備する。



軍手
(作業)



ハンマー
(部品取り付け)



ボンチ又は
コンクリートクギ
(パイプ継ぎ)



プライヤー
(部品取り付け)



17
14
スパナ
(部品取り付け)



マジック
(パイプ印)



カッター
(バンドカット)



脚立
(作業)



組立完成図

※シートは張り替え用があります、販売店にお問い合わせ下さい。

※シートに、機種名記入シールが貼付してあります。

張り替え幕等、お問い合わせの際、機種名が必要となりますので、すぐ確認できるように剥がさずに使用して下さい。



製造発売元
南栄工業株式会社
〒885-0004 宮崎県都城市都北町5025
TEL 0986-38-0111

安全上のご注意

保存版

平成22年12月改訂版

この商品を安全に正しく使用していただく為に、組み立てられる前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、十分に理解していただき正しくお使いください。

※お読みになった後は、必ず保管してください。

■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

■表示の意味は、次のようになっています。



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。

警告

◇次の場所には、設置しないでください（崩壊の危険性）

- 風当たりが強い場所 ○特に地盤の弱い場所
- 雪がまとまって落ちる恐れがある場所
- 雪が吹溜まりになる場所 ○焼却炉等、火気の付近

◇風の強い時、あるいは強風が予想される時は、全てのシートを取り外してください。（車庫が風に飛ばされて、思わぬ災害のもとになります。）

◇積雪時には、非常に危険ですので絶対に入らないでください。

※（特に子供さんには、指導してください。）

◇積雪時には随時除雪作業を行ってください。

◇製品に、火気等を近づけないでください。（火災の原因になります。）

◇天候の悪い日は、組み立て作業・補修作業をしないでください。（災害のもとになります。）

◇ベース部を完全に固定した後、シートを張ってください。

◆いずれの作業時も、安全を確認してください。

イラストは角パイプベースですが、アングルベースも同様です。

強風時は、シートを横にまとめてロープ等で止める。



積雪時は、危険ですので中に入らないでください。



まとまった雪が落ちる場所、風当たりが強い場所には設置しないでください。



注意

◇設置場所によっては、付属の固定杭では不十分場合がありますので、別途補強を行ってください。

◇車庫内で暖気運転をされる場合は、前後幕付きの場合は前幕を開けるなどして換気を十分行い、マフラーがシートに近づき過ぎないように十分注意してください。

◇パイプ等に物を掛けたり、ぶらさがらないでください。（破損・けがの原因になります。）

※（特に子供さんには、指導してください。）

◇前後幕付きの場合車両出入り時以外は、ファスナーを完全に閉めてください。

（風により車両に、ファスナー及びシートがあたり、キズを付ける可能性があります。）

◇シートの破れ及び、パイプのつぶれ等のある時は、予想出来ない危険を伴う事がありますので気付いた時点で本製品をお買い上げいただきました販売店で、破損部材を買い換えてください。

◆いずれの作業時も、安全を確認してください。